

介護現場におけるリスク管理と報連相の徹底 ～事故報告書・ひやりはっと記録の書き方・活かし方

研修の
ねらい

介護現場では利用者の多様なニーズに応えるべく多忙な業務を行なっています。業務は煩雑化する中、安全で適切なサービス提供に向けて職員へのリスク管理の意識づけや報連相の大切さの周知徹底は介護現場の重要課題となっています。この研修ではそのようなリーダー職の皆さまにご参加いただける分かりやすい基本研修となっております。

☆平成29年度「介護職員処遇改善加算・キャリアパス要件に対応した研修です。」

研修内容

■インシデント・アクシデントの報連相

- ・介護現場では、なぜ報連相が大切なのか？
- ・リスクマネジメントと報連相の重要性
- ・インシデントやアクシデント場面ですいつ、誰に、何を、どの様に報連相するの？
- ・介護事故発生時に優先して伝えるべき内容！

■ひやりはっと・事故報告書の記載例

- ・ベッドからの転落 ・食事中の誤嚥
- ・浴槽内での転倒や溺れかけ
- ・余暇時間の容態の急変
- ・ポータブルトイレ移乗時の転倒



■事故報告に不適切な記録表現（タブー語）

・ヒヤリハットや事故報告には不適切な言葉遣いや記録の使い方があります。リスマネの視点や倫理的観点から正しい書き方を解説していきます。

■主催：福祉と介護研究会35

■問合せ：受付係 盛岡市三ツ割三丁目8-16

TEL: 019-662-9488 FAX: 019-658-8029

Mail: fukuken-jim@future.ocn.ne.jp

ホームページ □ <http://fukuken.org>

▼下記にご記入の上、このままFAXにてご返信ください。

FAXの他、電話・メールでも受付しております。

開催日程

開催日	2017年9月6日（水）
時間	13:30～16:30
会場	神戸市教育会館 ＜神戸市中央区中山手通4丁目10-5＞
料金	4,000円（税込） ※事前申込の上、当日現金でのご精算となります。

講師：梅沢 佳裕（うめざわ よしひろ）

福祉と介護研究会35 代表

介護専門学校の助教員を経て、特別養護老人ホーム、在宅介護支援センター相談員を歴任し、デイサービスやグループホームの立上げに携わる。現在は、介護士・相談員・ケアマネ向けスキルアップ研修など多数の講演活動を行なっている。東北福祉大学社会福祉学部、日本福祉大学大学院社会福祉学専攻修了、社会福祉学修士、社会福祉士・介護支援専門員・福祉住環境コーディネーター

主な著書・監修／介護記録の書き方（雲母書房）・早わかり介護なんでも解決事典（主婦の友社）

雑誌：介護チームマネジメント（日総研）など

※お申込み頂いた方には、受講日の一週間前までに郵送にて受講票をお送り致します。
万が一、お手元に届かない場合は、確認のご連絡をお願いします。

御社名

ふりがな

①氏名

様

②氏名

様

御住所 〒

（ 事業所 ・ 自宅 ）

TEL

FAX

お申込はこちらFAX番号：019-658-8029 (FAXは24時間受付)

※今後FAXがご不要の方は、お手数ですがFAX番号をご記入の上、返信をお願いいたします。

□ FAX 不要（チェックをお願いします） FAX 番号（ ）